

★ 豆類 ハスモンヨトウ情報 ★

ハスモンヨトウの発生状況

平成23年8月中旬に実施した巡回調査におけるハスモンヨトウ(写真1 矢印)の発生状況は下表のとおりで、黒大豆、小豆とも**平年比やや多い**発生でした。

近畿地方の気象の1か月予報によると、気温は高いまたは平年並、降水量は平年並と予想されており、ハスモンヨトウの発生、増殖に好適な条件が続く見込みです。

小豆では、昨年、葉、子実に甚大な被害が出ており、特に注意が必要です。



写真1 小豆の葉を食害するハスモンヨトウ(矢印)

表 豆類におけるハスモンヨトウの発生状況

調査項目/作物・年月	黒大豆	小豆
	H23.8(平年値)	H23.8(平年値)
寄生株率(%)	1.5(1.1)	0.5(0.2)
寄生虫数(頭/25株)	0.4(1.5)	0.1(0.2)
発生ほ場率(%)	37.5(17.5)	12.5(3.3)
白変葉数(力所数/10a)	2.3(0.4)	0.3(0.3)
発生状況	平年比やや多い	平年比やや多い

防除対策

- ほ場を見回り、若齢幼虫分散前の白変葉(写真2)の早期発見、除去に努めてください。
- 齢が進んだ幼虫は薬剤の効果著しく低下するので、若齢幼虫期の防除が重要です。
- 小豆では、子実害虫類(アズキノメイガ、マメノメイガ、サヤムシガ類など)、オオタバコガ等の発生にも注意してください。
- 農薬を使用する際には、使用基準を遵守して適正に使用してください。なお、最新の農薬情報は農林水産省ホームページの「農薬コーナー」の「農薬情報」をご覧ください(<http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/index.html>)。



写真2 小豆における白変葉(左)と分散前のハスモンヨトウの若齢幼虫(右矢印)